

みずほCustomer Desk Report 2024/06/26号(As of 2024/06/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	159.57
TKY 9:00AM	159.71	1.0733	171.36	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	159.75	1.0744	171.36	1.2686	0.6655
SYD-NY Low	159.18	1.0691	170.71	1.2702	0.6672
NY 5:00 PM	159.67	1.0715	171.04	1.2670	0.6636
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	39,112.16	▲ 299.05	日本2年債	0.3000%	0.0000%
NASDAQ	17,717.65	220.84	日本10年債	1.0000%	0.0100%
S&P	5,469.30	21.43	米国2年債	4.7424%	0.0200%
日経平均	39,173.15	368.50	米国5年債	4.2740%	0.0201%
TOPIX	2,787.37	47.18	米国10年債	4.2467%	0.0135%
シカゴ日経先物	39,340.00	585.00	独10年債	2.4105%	▲0.0095%
ロンドンFT	8,247.79	▲ 33.76	英10年債	4.0740%	▲0.0050%
DAX	18,177.62	▲ 147.96	豪10年債	4.2020%	▲0.0120%
ハンセン指数	18,072.90	45.19	USDJPY 1M Vol	8.36%	▲0.48%
上海総合	2,950.00	▲ 13.10	USDJPY 3M Vol	9.13%	▲0.26%
NY金	2,330.80	▲ 13.60	USDJPY 6M Vol	9.57%	▲0.21%
WTI	80.83	▲ 0.80	USDJPY 1M 25RR	▲0.57%	Yen Call Over
CRB指数	292.06	▲ 2.72	EURJPY 3M Vol	9.21%	▲0.20%
ドルインデックス	105.61	0.13	EURJPY 6M Vol	9.46%	▲0.16%

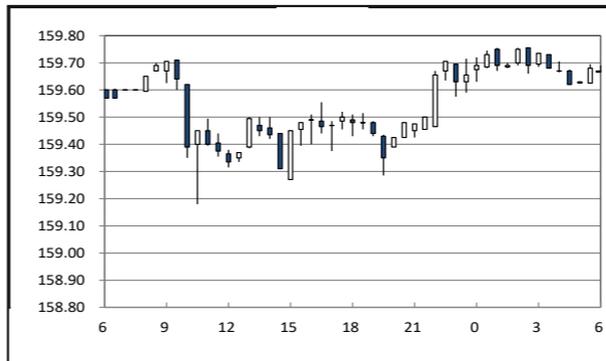
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月25日	20:00	米 ボウマンFRB理事 講演		「インフレに上振れリスクがある」
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	5月 0.18	-0.25
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	6月 100.4	100.0

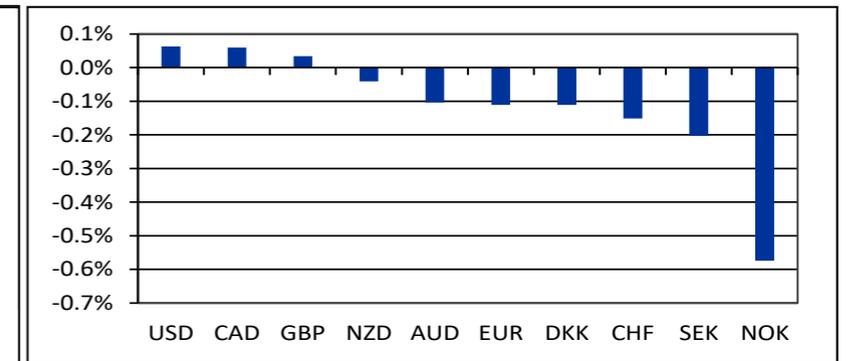
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月26日	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 633k	634k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	158.90-160.00	1.0650-1.0750	170.00-171.50

【マーケット・インプレッション】

海外市場のドル/円相場は小動きに推移。高止まりする日米金利差や継続する新NISAフローにより基調としての円安傾向は不変。ただ月末にかけては月末特有のフローに注意が必要。貿易決済に伴うドル買いフローに対し、年金勢の月末リバランスに伴うドル売りフロー。一方で管理フロート制を採用する中国人民元は日中のレンジ幅を制限する運用を行っているが、昨今の元安基調によりレンジ上限を試す動きが散見されている。このレンジ上限付近ではドル/人民元ロングの利食いと思しきドル売りフローが出やすく、特にアジア時間に起こりやすい。これらフローにより相場は均衡しドル/円相場は小動きとなる見方が優勢だが、やや大口のドル売りフローが入ると159円割れを試す可能性もある。

東京	東京時間のドル円は159.71レベルでオープン。仲値にかけては実需勢のドル売りのフローや160円の節目を前にした警戒感からドル円の上値が抑えられ、一時159.18まで下落。同水準ではドル買い需要も旺盛で159円半ばまで値を戻す。午後は目立った材料もない中、レンジ内での動きとなった。159.48レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、159.48レベルでオープン。ドル円は方向感なくもみ合い、結局159.46レベルでNYに渡った。政治不安に起因する仏国債金利スプレッドの拡大に歯止めがかかった兆候が見られるとの声も聞かれたが、欧州株は上値重く推移した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は159円台半ばでスタート。実需の売りが先行し、159.18まで下落。その後は米金利が上昇する動きを受け、159.50近辺まで買い戻されるも、上値重い推移が続き、159.46レベルでNYオープン。午前中は米金利が上昇幅を拡大する動きや、米6月コンファレンスボード消費者信頼感指数が予想を上回った事等を受け、ドル買いが優勢となり、159.75まで上昇。午後に発表された米2年債の入札結果は堅調だったものの、ドル円は反応薄。その後も159.70付近を中心とした値動きが続き、159.67レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。1.0744まで上昇する場面もあったが、その後は独長期金利が低下する動きを背景に反落し、1.0710レベルでNYオープン。午前中は米金利が上昇する展開が一段の重しとなり、1.07台を割り込み、1.0691まで値を下げる。その後は売り一巡となり、1.07台ちょうど付近まで戻す。午後は1.0710付近を挟んだ推移が続き、1.0715レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。